

	問題	正答	群	正解率	1つ選ぶ問題					2つ選ぶ問題								
					1	2	3	4	5	1,2	1,3	1,4	1,5	2,3	2,4	2,5	3,4	3,5
人体の構造と機能及び疾病	問1	3	全体	97.2%	0.3%	1.6%	97.2%	0.1%	0.8%	◆ピンクの数字は、合格圏群と未合格圏群の正解率が15%以上の開きがあるものを示している。								
			合格圏	97.6%	0.4%	2.0%	97.6%	0.0%	0.0%	◆赤い数字は、受験者が迷った選択肢、あるいは着目すべき選択肢を示している。この部分を確認すると、模試受験者は、どのようなところが間違いやすいのかが明確に分かる。⇒合格圏の人と未合格圏の人で、迷った選択肢が違う問題は特に注目してみよう。問題を読む時のヒントが必ずあることが分かる！！								
			未合格圏	97.0%	0.2%	1.4%	97.0%	0.2%	1.2%									
	問2	1	全体	85.0%	85.0%	3.2%	2.0%	1.9%	7.8%	◆合格圏の人、未合格圏の人それほど大きな差はない。解けない問題は、多くの人が解けない。点数に差が生じるのは、解ける問題をどれほど積み重ねるか、である。								
			合格圏	89.4%	89.4%	1.2%	1.2%	1.6%	6.5%	⇒ 右・上・下など対になっているものは、右を左に、上を下に入れ替えるのは、間違い選択肢の常とう手段！！								
			未合格圏	82.9%	82.9%	4.2%	2.4%	2.0%	8.5%									
	問3	3	全体	10.5%	38.8%	45.2%	10.5%	1.3%	4.2%	◆自分の解答をよく見てみると、なぜ得点できなかったのかが見えてくる。知識の差はごくわずか。多くの場合は、うっかりミスなどである。解けなかったのは、決して知識が足りなかったわけではない。これからは、今までやってきたことをひたすら、繰り返していくことが大切である。								
			合格圏	16.7%	38.2%	39.4%	16.7%	1.6%	4.1%									
			未合格圏	7.4%	39.0%	48.1%	7.4%	1.2%	4.2%	⇒ ICFの用語を整理しよう 活動制限⇒ 個人が活動を行うときに生じる難しさ 参加制約 ⇒ 個人が何らかの生活・人生場面にかかわるときに経験する難しさ								
	問4	3	全体	41.3%	41.5%	0.8%	41.3%	9.0%	7.4%	⇒ オタワ憲章＝ヘルスプロモーション(イメージ記憶法:お・へそ)								
			合格圏	48.0%	37.0%	0.4%	48.0%	8.1%	6.5%	⇒ 健康手帳を交付するのは市町村。市町村が担う役割は、高度かつ専門的ではないもの。健康手帳は、特定健診等を受診した人に対して交付するもの。交付には高度な判定はなされない。同じようなものには、妊娠を届け出た人に対して交付する母子健康手帳がある。高度かつ専門的なのに市町村が担うものには、要介護認定、障害支援区分認定があるが、これは例外である。								
			未合格圏	38.0%	43.7%	1.0%	38.0%	9.5%	7.8%									
	問5	5	全体	18.2%	6.4%	20.2%	23.4%	31.8%	18.2%									
			合格圏	39.8%	2.8%	19.1%	9.8%	28.5%	39.8%	⇒ 合格圏の人は、正解選択肢を選んだ人が最も多いのに対し、未合格圏の人は、正解選択肢を選ぶ率が最も低くなっている。中核症状、周辺症状を整理しよう。								

		未合格圏	7.3%	8.2%	20.8%	30.2%	33.5%	7.3%	
問6	1	全体	81.6%	81.6%	0.5%	1.9%	15.5%	0.5%	<p>⇒ 「言い切り表現に正解少なし」「あいまい表現に正解多し」を押さえておこう。「含まれる」はあいまい表現。</p> <p>⇒ DSM-5に改訂されてからまだ日が浅い。参考書に書いてあるものをしっかり押さえておれば、対応できる！！</p>
		合格圏	85.8%	85.8%	0.0%	2.8%	10.6%	0.8%	
		未合格圏	79.5%	79.5%	0.8%	1.4%	17.9%	0.4%	
問7	4	全体	79.7%	4.8%	0.1%	11.8%	79.7%	3.5%	<p>⇒ 両群ともに大きな差は見られない。少し差が見られるのは、選択肢3のリハビリはいつから始まったのか、である。合格圏群は比較的消去できていることが分かる。選択肢を一つでも多く消去できると正解にたどり着く確率は高くなる。</p>
		合格圏	86.6%	3.7%	0.0%	8.1%	86.6%	1.6%	
		未合格圏	76.3%	5.4%	0.2%	13.7%	76.3%	4.4%	
問8	3	全体	55.3%	7.4%	13.9%	55.3%	14.8%	8.6%	<p>⇒ 山は1つしかない。得点の差はこのような問題に表われる。</p> <p>⇒ 山が3つある。もう一つ多く選択肢を消去したい。一つでも選択肢を消去できれば、正解できる確率は上がる。</p>
		合格圏	73.9%	8.2%	6.9%	73.9%	6.9%	4.1%	
		未合格圏	46.2%	7.0%	17.3%	46.2%	18.7%	10.8%	
問9	5	全体	56.3%	16.3%	7.1%	4.4%	15.9%	56.3%	<p>⇒ 未合格圏群は山が3つできている。山が多いのは、消去できなかった選択肢が多かったことを示している。確率論で言えば、すべての問題で選択肢を3つ消去することができれば、合格基準点に達する。オペラントとレスポンドを瞬時に見分けるポイントは、オペラントには賞罰が加わっていることである。</p>
		合格圏	72.0%	15.9%	3.3%	2.8%	6.1%	72.0%	
		未合格圏	48.6%	16.5%	9.0%	5.2%	20.7%	48.6%	
問10	2	全体	21.9%	19.2%	21.9%	17.6%	24.0%	17.2%	<p>⇒ 人名を必死になって覚えても、人名がカギになる問題は、限られている。特性論は何？ 類型論は何？ といった理解が必要である。そこが両群の正解率の差になって表われていると思われる。</p>
		合格圏	40.4%	13.1%	40.4%	12.2%	17.1%	17.1%	
		未合格圏	12.9%	22.3%	12.9%	20.3%	27.3%	17.3%	

予理論と心理的支援

問11	4	全体	77.8%	5.0%	1.4%	12.3%	77.8%	3.5%	⇒ 合格圏の人は、山が一つしかないが、未合格圏の人は山が2つできている。ほんのちょっと迷った分だけ正解率が下がる。
		合格圏	88.0%	1.2%	0.4%	8.3%	88.0%	2.1%	
		未合格圏	72.9%	6.8%	1.8%	14.3%	72.9%	4.2%	
問12	4	全体	55.0%	18.8%	3.2%	8.2%	55.0%	14.8%	⇒ 合格圏の人は、山が一つしかないが、未合格圏の人は山が2つできている。迷った分だけ正解率が下がる。同じ状況でも「ストレスに感じるかどうか」は気持ち次第である。深く考えすぎないことも大切！！ コーピング、PTSDをしっかり押さえていることが正解率をアップさせるポイントだった。
		合格圏	71.1%	14.2%	2.8%	4.5%	71.1%	7.3%	
		未合格圏	47.0%	21.1%	3.4%	10.0%	47.0%	18.5%	
問13	5	全体	68.6%	6.2%	3.5%	7.7%	14.0%	68.6%	⇒ 心理検査にはいろいろな種類がある。まずは質問紙法、投影法、作業検査法を整理して覚えること。
		合格圏	82.5%	1.2%	0.4%	3.3%	12.6%	82.5%	
		未合格圏	61.8%	8.7%	5.0%	9.9%	14.7%	61.8%	
問14	3	全体	34.3%	4.6%	27.4%	34.3%	11.7%	22.0%	⇒ 合格圏の人は、山が2つ、未合格圏の人は山が3つ。消去できた選択肢の数が1つでも多いことが正解につながる。心理劇は、筋書きのない即興性であることが特徴である。心理療法の出題率は100%！！ 確実に覚えよう！！
		合格圏	44.7%	6.5%	19.9%	44.7%	9.3%	19.5%	
		未合格圏	29.1%	3.6%	31.1%	29.1%	12.9%	23.3%	
問15	4	全体	60.5%	10.2%	12.4%	11.6%	60.5%	5.4%	⇒ 社会理論は、比較的人名問題が出題されるが、最低これらの人名だけは覚えておきたい。正解選択肢はイメージ記憶法の「マインが最初！」
		合格圏	76.8%	7.7%	6.5%	4.5%	76.8%	4.5%	
		未合格圏	52.4%	11.4%	15.3%	15.1%	52.4%	5.8%	
		全体	34.7%	22.3%	21.1%	12.3%	34.7%	9.7%	

社会理論と社会システム

問16	4	合格圏	38.8%	13.8%	18.1%	17.4%	38.8%	12.0%	<p>⇒ 合格圏の人は、山が1つ、未合格圏の人は山が3つ。消去できた選択肢の数が1つでも多いことが正解につながる。国試の特徴として、「やっている施策は広めたい」というものがあることを覚えておこう！！</p>
		未合格圏	32.4%	27.0%	22.7%	9.5%	32.4%	8.5%	
問17	5	全体	36.6%	9.4%	19.9%	11.4%	22.6%	36.6%	<p>⇒ この手の問題を苦手としている人は、深追いするのはやめよう。ここで覚えておきたいのは「順機能」「逆機能」のみである。特に逆機能は頻出である。</p>
		合格圏	53.3%	6.5%	16.3%	6.1%	17.9%	53.3%	
		未合格圏	28.4%	10.9%	21.7%	14.1%	24.9%	28.4%	
問18	4	全体	30.1%	24.2%	12.5%	32.1%	30.1%	1.1%	<p>⇒ この手の白書問題や報告書関係は、参考書等に載っている数値で十分である。細かい数値は出題されない！！ 正解できればラッキー、正解できなくてもともとである。決して深追いしないこと。</p>
		合格圏	36.2%	24.8%	9.3%	29.3%	36.2%	0.4%	
		未合格圏	27.1%	23.9%	14.1%	33.5%	27.1%	1.4%	
問19	2	全体	32.1%	1.5%	32.1%	30.6%	4.8%	30.9%	<p>⇒ この手の問題は正解できればラッキー、正解できなくてもともとである。決して深追いしないこと。模試では正解を選ぶ勘を養うことが大切！！ 知っていること、見聞きしたものを総動員すること。</p>
		合格圏	45.5%	0.8%	45.5%	29.3%	4.1%	20.3%	
		未合格圏	25.5%	1.8%	25.5%	31.3%	5.2%	36.1%	
問20	3	全体	29.4%	14.0%	9.9%	29.4%	10.6%	36.0%	<p>⇒ 社会集団はいくつかあるが、準拠集団が最も頻出である！！ しっかり押さえよう。</p>
		合格圏	39.8%	6.9%	4.9%	39.8%	4.9%	43.5%	
		未合格圏	24.3%	17.5%	12.4%	24.3%	13.5%	32.3%	
問21	3	全体	73.2%	4.3%	11.7%	73.2%	4.6%	6.2%	<p>⇒ 時事問題のようなものは、対策を取るのには困難。知っている知識、見聞きした知識、体験などを総動員して答えを炙り出そう！！</p>
		合格圏	78.8%	2.9%	9.4%	78.8%	4.9%	4.1%	

			未合格圏	70.4%	5.0%	12.9%	70.4%	4.4%	7.2%	
現代社会	問22	4	全体	33.2%	8.7%	5.3%	19.8%	33.2%	33.1%	⇒ 絶対的貧困, 相対的貧困, 相対的貧困率, 貧困の発見, 貧困の再発見は, しっかり押さえておきたい。ケイパビリティ・アプローチは, 物があるかないかではないところが新しい概念である。
			合格圏	53.1%	6.2%	2.5%	18.7%	53.1%	19.5%	
			未合格圏	23.5%	9.9%	6.6%	20.3%	23.5%	39.6%	
	問23	4	全体	39.2%	17.1%	21.5%	10.3%	39.2%	11.8%	⇒ 2017年は厚労省の前身の内務省救護課設置, 民生委員の前身の済世顧問制度創設から100年という節目の年である。2018年は, 米騒動, 方面委員制度創設から100年となる。特に米騒動は押さえておきたい。
			合格圏	48.4%	8.9%	22.4%	10.2%	48.4%	10.2%	
			未合格圏	34.7%	21.1%	21.1%	10.4%	34.7%	12.7%	
	問24	3	全体	91.4%	0.5%	7.3%	91.4%	0.8%	0.0%	⇒ ニーズに関する出題は, ほぼ100%!! ブラッドショー, 貢献原則, 必要原則などを押さえておこう!!
			合格圏	97.2%	0.0%	2.4%	97.2%	0.4%	0.0%	
			未合格圏	88.5%	0.8%	9.7%	88.5%	1.0%	0.0%	
	問25	2	全体	33.5%	0.5%	33.5%	41.1%	24.6%	0.3%	⇒ 超難問であるが, 報酬, バウチャーは今覚えておきたい。
			合格圏	37.8%	0.0%	37.8%	47.2%	15.0%	0.0%	
			未合格圏	31.3%	0.8%	31.3%	38.2%	29.3%	0.4%	
問26	2	全体	46.8%	4.5%	46.8%	23.6%	24.6%	0.5%	⇒ 合格圏の人の選択は少なかった選択肢4は, 「所得保障ではなく」という表記が余計である。正しい場合は, 「社会的包摂政策は, 就労促進による社会参加の機会を保障するために取り組む」だけで意味が通じる。そうしていないのは, 間違い選択肢にするため。解答テクニックは「人は嘘をつく時, 饒舌になる」。合格圏と未合格圏で選択率の差が大きい選択肢は, 必ず確かめてみよう。そこには得点するためのヒントがある!!	
		合格圏	64.6%	3.7%	64.6%	23.2%	8.5%	0.0%		
		未合格圏	38.9%	4.8%	38.9%	23.8%	31.7%	0.7%		

云と福祉	問27	2	全体	41.0%	9.1%	41.0%	26.7%	14.1%	9.0%	<p>➡ この手の白書問題や報告書関係は、参考書等に載っている数値で十分である。細かい数値は出題されない！！ 正解できればラッキー、正解できなくてもともとである。決して深追いしないこと。それよりも注目したいのは、合格圏群は選択肢1と5はしっかり消去できていることである。これらを選択肢した人はなぜそれをそれを選んでしまったのかを考えることが大切である。</p>						
			合格圏	50.4%	4.5%	50.4%	28.0%	13.0%	4.1%							
			未合格圏	36.3%	11.4%	36.3%	26.1%	14.7%	11.4%							
	問28	2	全体	8.3%	3.7%	8.3%	23.6%	58.6%	5.7%	<p>➡ この手の白書問題や報告書関係は、参考書等に載っている数値で十分である。細かい数値は出題されない！！ 正解できればラッキー、正解できなくてもともとである。決して深追いしないこと。</p>						
			合格圏	11.4%	4.5%	11.4%	28.0%	48.8%	7.3%							
			未合格圏	6.8%	15.0%	6.8%	21.5%	63.4%	5.0%							
	問29	2	全体	44.0%	9.0%	44.0%	5.1%	29.2%	12.8%	<p>➡ 福祉国家レジームの出題率は、62.5%！！ 極めて高い。過去問でどのように出題されているのかをしっかりと覚えておこう。タイトマスの分類も合わせて覚えておきたい。</p>						
			合格圏	53.7%	6.1%	53.7%	0.4%	28.0%	11.8%							
			未合格圏	39.2%	10.4%	39.2%	7.4%	29.7%	13.3%							
	問30	5	全体	52.8%	21.3%	16.3%	0.4%	9.3%	52.8%	<p>➡ 未合格圏の人もよく正解していると言えるが、パブリック・コメント、アカウントビリティがあまりに低くなったために合格圏群よりも生活率が低くなっている。</p>						
			合格圏	66.3%	14.2%	16.3%	0.4%	2.8%	66.3%							
			未合格圏	46.1%	24.7%	16.3%	0.4%	12.5%	46.1%							
問31	1,5	全体	18.2%	<p>未合格圏群は、アクティベーションは選んでいるが、「福祉から就労へ」が選べなかった。「就労から福祉へ」ではなく、「福祉から就労へ」は、多くの国が今日採用している福祉政策である。</p>	1.9%	13.1%	27.0%	18.2%	0.5%	1.8%	0.7%	10.0%	3.8%	10.4%		
		合格圏	33.8%		0.9%	15.0%	26.1%	33.8%	0.0%	0.9%	0.4%	5.6%	2.6%	11.1%		
		未合格圏	10.8%		2.4%	12.2%	27.5%	10.8%	0.8%	2.2%	0.8%	12.0%	4.4%	10.0%		
			全体	48.2%	7.2%	15.0%	11.5%	48.2%	18.1%							

問32	★	合格圏	49.8%	7.3%	11.8%	10.6%	49.8%	20.4%	→ 合格圏群と未合格圏群では、ほぼ同じ解答傾向になっている珍しい問題である。(全員加点)
		未合格圏	47.5%	7.1%	16.6%	11.9%	47.5%	17.0%	
問33	2	全体	76.9%	2.8%	76.9%	5.5%	14.1%	0.7%	→ 「地域共生社会」は、国が力を入れている政策なので、一応チェックしておこう。この問題も、合格圏群と未合格圏群では、ほぼ同じ解答傾向になっている珍しい問題である。
		合格圏	83.3%	2.4%	83.3%	3.3%	11.0%	0.0%	
		未合格圏	73.7%	3.0%	73.7%	6.6%	15.7%	1.0%	
問34	5	全体	30.2%	8.7%	13.7%	23.4%	23.9%	30.2%	→ この問題は、合格圏群と未合格圏群の正解率が逆転している。受験者は高齢者分野に従事している人が多かったことが影響していると考えられる。別な見方をすると、合格圏群は、特定の分野に強いのではなく、どこの分野でも万遍なく得点できることが特徴だとも言える。
		合格圏	26.8%	7.7%	13.8%	21.1%	30.5%	26.8%	
		未合格圏	31.9%	9.2%	13.7%	24.5%	20.7%	31.9%	
問35	2	全体	71.5%	10.2%	71.5%	6.9%	11.2%	0.3%	→ 生活支援コーディネーターは、よく得点出来ている。得点出来なかった人は、どんな役割があるのかをしっかりと押さえておくこと。 <b>&lt;児童委員&gt;</b> 児童委員は、その職務に関し、都道府県知事の指揮監督を受ける。 都道府県知事は、児童委員の研修を実施しなければならない。 <b>&lt;民生委員&gt;</b> 民生委員は、その職務に関して、都道府県知事の指揮監督を受ける。 都道府県知事は、児童委員の研修を実施しなければならない。
		合格圏	76.3%	9.4%	76.3%	8.2%	5.3%	0.8%	
		未合格圏	69.1%	10.6%	69.1%	6.2%	14.1%	0.0%	
問36	3	全体	41.5%	18.7%	6.7%	41.5%	20.6%	12.5%	<b>&lt;保護司&gt;</b> 保護司は、保護観察官で十分でないところを補い、地方委員会又は保護観察所の長の指揮監督を受けて、保護司法の定めるところに従い、それぞれ地方委員会又は保護観察所の所掌事務に従事するものとする。 <b>これらからわかること →</b> ・指揮監督を受けるのは、市町村ではない。 ・研修事業を実施するのは、市町村ではない。 ⇒ 市町村は、専門的、かつ高度な判断が求められる業務は基本的には行わない。※要介護認定、障害支援区分認定は例外！ ⇒ 市町村は、専門職を対象とする養成研修は行わない。
		合格圏	45.5%	16.3%	5.7%	45.5%	22.4%	10.2%	
		未合格圏	39.4%	19.9%	7.2%	39.4%	19.7%	13.7%	
問37	4	全体	97.6%	0.4%	2.0%	0.0%	97.6%	0.0%	→ この手の問題はしっかり得点したい。正解できなかった人は、なぜ正解できなかったのか
		合格圏	98.0%	0.8%	1.2%	0.0%	98.0%	0.0%	



法		未合格圏	97.4%	0.2%	2.4%	0.0%	97.4%	0.0%	をしっかりと振り返ることが大切である！！
問38	5	全体	24.0%	11.4%	0.3%	32.0%	32.3%	24.0%	⇒ 共同募金の出題率は、62.5%。しっかり覚えよう！！
		合格圏	35.4%	7.7%	0.0%	25.2%	31.7%	35.4%	
		未合格圏	18.3%	13.3%	0.4%	35.4%	32.6%	18.3%	
問39	2	全体	50.4%	39.0%	50.4%	8.9%	1.2%	0.5%	⇒ 社会福祉法人改革が出題される可能性は極めて高い！！ 日総研模試や他社の模試で 出題されているところは確実に覚えよう！！
		合格圏	63.4%	29.7%	63.4%	4.9%	1.2%	0.8%	⇒ 未合格圏群では、選択肢3の選択が若干高い。「〇〇にかかわらず」は間違い選択肢を 作成する時の常とう手段！！ 要注意ワードです！！
		未合格圏	44.0%	43.6%	44.0%	10.8%	1.2%	0.4%	
問40	3	全体	47.7%	9.0%	6.5%	47.7%	20.7%	16.1%	⇒ 両群に大きな違いは見られないが、選択肢1の選択に若干の違いが見られる。ある程度 勉強した人は、「知らないものは勉強不足ではなく、間違い選択肢を無理に作ったからだ」と考 えられる。勉強があまり進んでいない人は、「知らないのは勉強不足だからだ」と考える。正解 率の差はそんなところから生まれてくる。
		合格圏	54.9%	4.9%	2.8%	54.9%	23.6%	13.8%	
		未合格圏	44.2%	11.0%	8.2%	44.2%	19.3%	17.3%	
問41	1	全体	39.0%	39.0%	33.1%	11.8%	15.1%	0.9%	⇒ この問題も両群に大きな違いは見られないが、選択肢2の選択に若干の違いが見られる ことで正解率が変わってきている。答えは分からなくても「に限り」という限定表現に気がつけ ば消去できた。
		合格圏	50.4%	50.4%	23.6%	11.0%	15.0%	0.0%	
		未合格圏	33.4%	33.4%	37.8%	12.3%	15.1%	1.4%	
問42	4	全体	43.9%	18.4%	15.5%	13.2%	43.9%	9.0%	⇒ この問題も両群に大きな違いは見られないが、選択肢5の選択に若干の違いが見られ る。地方社会福祉審議会のような高度な機関は、市町村に義務づけられることはない。
		合格圏	44.3%	19.1%	16.3%	14.2%	44.3%	6.1%	
		未合格圏	43.7%	18.1%	15.1%	12.7%	43.7%	10.5%	



福祉行財政と福祉計画

問43	3	全体	52.4%	12.1%	2.3%	52.4%	6.3%	26.8%	<p>➡ 両群も同じように山が2つできているが、正解率が大きく異なっているのは、合格圏群では、選択肢1, 2, 4をしっかりと消去できているため。精神保健福祉センターは、精神保健福祉手帳を交付するための高度な判断を求められる。高度かつ専門的な判断が求められるものは、市町村の役割ではない。</p>
		合格圏	64.6%	6.5%	2.0%	64.6%	2.0%	24.8%	
		未合格圏	46.4%	14.9%	2.4%	46.4%	8.5%	27.8%	
問44	1	全体	35.4%	35.4%	25.2%	5.6%	13.8%	20.0%	<p>➡ 両群に大きな違いは見られないが、結果的に正解率に差が生じている。選択肢2と3を消去出来たかどうか正解率の差に表れている。国庫負担割合を2分の1に恒久化したこと、消費増税分は、子ども・子育て、医療、年金、介護に充てられていることをしっかり押さえておこう！！</p>
		合格圏	44.3%	44.3%	22.0%	2.8%	12.2%	18.7%	
		未合格圏	30.9%	30.9%	26.8%	7.0%	14.5%	20.7%	
問45	4	全体	30.8%	8.2%	6.9%	28.1%	30.8%	26.0%	<p>➡ 両群ともに山が3つできているが、差が大きいのは、選択肢3である。民生費の内訳で最も多いのは、児童福祉費である。イメージ的に老人福祉費の方が多そうに思えるかもしれないが、高齢者関係の多くは介護保険によって運営されているので、福祉としての支出はそれほど多くはない。このような一般的なイメージとのずれは出題されやすい。勉強していて「はっ！」と思ったことはメモしておこう！！</p>
		合格圏	42.3%	6.5%	7.3%	22.0%	42.3%	22.0%	
		未合格圏	25.2%	9.1%	6.6%	31.2%	25.2%	28.0%	
問46	3	全体	51.3%	2.6%	22.7%	51.3%	14.7%	8.7%	<p>➡ 「一体」で策定しなければならないのは老人福祉法の「老人福祉計画」と介護保険法の「介護保険事業計画」のみである。整合性は介護保険法の「介護保険事業計画」と医療介護総合確保推進法の「都道府県(市町村)計画」と医療法の「医療計画」である。そのほかは関係性がないか、「調和」である。</p>
		合格圏	67.9%	0.4%	19.1%	67.9%	7.7%	4.9%	
		未合格圏	43.2%	3.6%	24.5%	43.2%	18.1%	10.6%	
問47	4	全体	63.1%	1.6%	9.7%	19.0%	63.1%	6.6%	<p>➡ 都道府県の役割の中には、専門職に関する研修がある。市町村は専門職に対する研修は行わない。市町村が研修などを行う場合は、市民を対象とするものである。</p>
		合格圏	70.3%	1.6%	8.5%	18.3%	70.3%	1.2%	
		未合格圏	59.6%	1.6%	10.3%	19.3%	59.6%	9.3%	
		全体	14.0%	14.0%	18.1%	11.8%	22.8%	33.2%	

社会 保 障	問48	1	合格圏	19.1%	19.1%	24.4%	11.4%	15.4%	29.7%	⇒ 両群ともに選択したものにばらつきがみられるので、かなり難しかったことが伺われる。差があるのは、選択肢4の地域福祉活動計画である。地域福祉活動計画は社協などが主体となって策定されるが、根拠法はないことを押さえておこう！！
			未合格圏	11.4%	11.4%	15.1%	12.0%	26.5%	34.9%	
	問49	5	全体	20.4%	6.3%	16.7%	49.6%	7.0%	20.4%	⇒ 正解選択肢とは違う選択肢が一番選ばれているので、かなりの引っ掛けが施されている問題であることが分かる。1億人を下回ると予測される年を覚えるのは難しいので、1億人を超えたのは約40年前、1億人を下回るのは約40年後と覚えよう。合計特殊出生率は右肩上がりとなっている(一貫してはいない)。少子化なので合計特殊出生率も下がっていると思われがちだが違うことに注意！！ 合計特殊出生率が上がっても親の世代の人数が少ないために出生数は増えない。
			合格圏	21.1%	6.5%	16.3%	55.3%	0.8%	21.1%	
			未合格圏	20.1%	6.2%	16.9%	46.8%	10.0%	20.1%	
	問50	2	全体	44.6%	13.4%	44.6%	27.6%	10.2%	4.2%	⇒ この問題の選択肢は、すべて重要である。しっかり覚えておきたい。選択肢2は、筆者が最も好きなイメージ記憶法の「21世紀は、年々衣服が郷さん似」(年金:医療:福祉その他=5:3:2)を覚えておきたい！！
			合格圏	65.0%	5.3%	65.0%	16.3%	8.9%	4.5%	
			未合格圏	34.5%	17.5%	34.5%	33.1%	10.8%	4.0%	
	問51	4	全体	31.5%	14.6%	1.8%	15.3%	31.5%	36.9%	⇒ 両群ともに選択肢4、あるいは5のどちらかであるかが迷ったことがうかがえる。しかし、合格圏群は4を選び、未合格圏群は5を選んでしまっている。社会扶助は税財源のみ、社会保険は社会保険料が主な財源。この理解は必須である。「初めての〇〇」は出題されやすいので、しっかり覚えよう。「世界初の社会保険はドイツ」、「日本初の社会保険は健康保険法」などである。
			合格圏	56.1%	8.1%	1.2%	10.2%	56.1%	24.4%	
			未合格圏	19.2%	17.8%	2.0%	17.8%	19.2%	43.1%	
	問52	2	全体	51.5%	15.2%	51.5%	2.2%	22.5%	8.6%	⇒ 「限られる」「のみである」「できない」などの言い切り表現は間違い選択肢となる率が高いことを覚えておこう！！
			合格圏	67.1%	10.2%	67.1%	2.0%	15.0%	5.7%	
			未合格圏	43.8%	17.7%	43.8%	2.2%	26.2%	10.1%	
	問53	3	全体	34.1%	18.7%	23.0%	34.1%	21.2%	3.0%	⇒ 合格圏群は山が2つ、未合格圏群の山は4つ。選択肢1と2を消去できたかどうか为正解率の差に表われている。共済組合は現存するが、年金制度は厚生年金に一元化されている。国庫負担分が年金額に反映されるのは保険料免除の場合のみ。しっかり押さえておこう！！
			合格圏	40.2%	15.4%	19.5%	40.2%	23.6%	1.2%	

		未合格圏	31.1%	20.3%	24.7%	31.1%	20.1%	3.8%	つ！！									
問54	3	全体	52.9%	6.9%	25.9%	52.9%	5.1%	9.2%	<p>⇒ 労災保険と雇用保険は、2つ合わせて労働保険と呼ばれるが、雇用保険は、雇用形態や雇用期間によって適用が変わるが、労災は労働者保護が目的なので、適用されないということはない。2つの保険の目的を思い起こせば、解ける問題は多い！！</p>									
		合格圏	67.3%	3.7%	20.8%	67.3%	2.0%	6.1%										
		未合格圏	45.8%	8.5%	28.4%	45.8%	6.7%	10.7%										
問55	5	全体	36.1%	30.0%	4.6%	13.6%	15.7%	36.1%	<p>⇒ 両群ともに大きな山は2つであることは同じだが、未合格圏群は選択肢3と4があまり消去できていないという特徴がある。選択肢3の「一律」は間違い選択肢を作る時の常とう手段である。自賠償は対人保障のみである。健康保険が適用されないのは「労災」の場合である。</p>									
		合格圏	56.5%	24.8%	3.3%	7.3%	8.1%	56.5%										
		未合格圏	26.0%	32.6%	5.2%	16.7%	19.5%	26.0%										
問56	2,4	全体	26.2%	WEB学習塾流の「行動援護」と「同行援護」の覚え方 ⇒ 「行動援護」は、精神障害者、知的障害者などが危険な行動を取った場合に援護する。「同行援護」は、視覚障害者のガイドとして同行する。					22.1%	3.1%	32.6%	0.5%	2.8%	26.2%	1.2%	2.0%	0.1%	1.1%
		合格圏	31.7%	18.3%	1.6%	31.7%	0.4%	2.8%	31.7%	2.4%	2.8%	0.4%	1.2%					
		未合格圏	23.5%	23.9%	3.8%	33.0%	0.6%	2.8%	23.5%	0.6%	1.6%	0.0%	1.0%					
問57	1	全体	36.4%	36.4%	9.6%	3.0%	47.4%	3.6%	<p>⇒ 両群ともに選択肢1か4で迷った様子がうかがえる。選択肢4もまったく不正解とは言えなくもないが、同僚などの社員を配置するのであれば、新人などに対する体制と何ら変わるものではないので、正解とならない。合理的配慮は、雇用主が過重な負担を伴わない程度の配慮である。</p>									
		合格圏	43.5%	43.5%	4.5%	0.8%	45.5%	5.7%										
		未合格圏	32.9%	32.9%	12.1%	4.0%	48.3%	2.6%										
問58	3,4	全体	45.4%	虐待者には「養護者」「障害者福祉施設従事者等」「使用者」があるが、養護者及び障害者福祉施設従事者等による虐待に通報先は「市町村」、使用者による虐待の通報先は市町村又は都道府県」となっていることに注意！！					0.1%	13.3%	20.2%	2.1%	0.5%	2.5%	0.0%	45.4%	5.5%	7.3%
		合格圏	56.8%	0.0%	12.3%	22.5%	0.4%	0.0%	1.3%	0.0%	56.8%	3.8%	0.4%					
		未合格圏	40.0%	0.2%	13.8%	19.1%	2.8%	0.8%	3.0%	0.0%	40.0%	6.3%	10.5%					

障害者に対する

支援と障害者自立支援制度

問59	3	全体	22.3%	8.7%	19.5%	22.3%	28.3%	21.1%	<p>➡ 両群ともに選択にばらつきがあることから難易度が高かったことがうかがわれる。選択肢5は、またまた市町村と都道府県の役割についての出題である。身体障害者手帳の交付には、障害等級の判断が求められる。高度かつ専門的判断を求められるものは市町村の役割ではない！！</p>											
		合格圏	30.1%	4.5%	16.7%	30.1%	27.2%	21.5%												
		未合格圏	18.5%	10.9%	20.9%	18.5%	28.8%	20.9%												
問60	2	全体	73.2%	3.9%	73.2%	13.1%	7.7%	2.2%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。障害児相談支援は、障害児通所支援を利用する場合に作成される。施設入所する場合に作成しない理由は、障害児が施設入所することは親から引き離されることを意味する。極めて専門性の高いものである。障害児相談支援事業所は市町村が指定する。高度かつ専門性の高い業務は行わない市町村が指定した事業所も高度かつ専門性の高い業務は行わない。</p>											
		合格圏	83.7%	2.8%	83.7%	5.3%	7.3%	0.8%												
		未合格圏	68.0%	4.4%	68.0%	16.9%	7.8%	2.8%												
問61	3	全体	80.9%	0.4%	4.6%	80.9%	10.4%	3.8%	<p>➡ 両群ともに正解率が極めて高い。選択肢4の違いが正解率の違いとなっている。国試の問題は基本を押さえておいてほしいものを出題する。その意味から「省略してもよい」という選択肢が正解になる率は低いと考えられる。まったく答えが分からなかったら、このタイプの選択肢は選ばないようにするのが妥当である。試験委員の出題意図を考えながら問題を解くことも時には必要である。</p>											
		合格圏	89.0%	0.0%	2.0%	89.0%	6.5%	2.4%												
		未合格圏	76.9%	0.6%	5.8%	76.9%	12.3%	4.4%												
問62	2,3	全体	29.6%	<p>障害福祉サービスの事業所指定は都道府県である。相談支援事業所の場合、「地域相談支援」は都道府県が指定するから「一般相談支援事業所」、「計画相談支援」は例外的に市町村が行うから「特定相談支援事業所」となる。</p>					6.2%	2.3%	2.8%	1.9%	29.6%	14.4%	18.0%	6.3%	7.9%	3.8%		
		合格圏	43.1%						2.4%	2.8%	2.8%	0.8%	43.1%	14.2%	11.0%	8.1%	7.7%	4.5%		
		未合格圏	22.9%						8.0%	2.0%	2.8%	2.4%	22.9%	14.5%	21.5%	5.4%	8.0%	3.4%		
問63	4	全体	59.1%	2.8%	25.4%	8.4%	59.1%	4.3%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。正解率に差が生じているのは選択肢2の「相対的貧困率」である。これを選択肢した人は、後から振り返った時、さぞかし悔しい思いをしたことであろう。本試験ではこのようなうっかりミスを極力なくすることが大切である。</p>											
		合格圏	66.9%	0.8%	20.4%	6.9%	66.9%	4.9%												
		未合格圏	55.2%	3.8%	27.8%	9.1%	55.2%	4.0%												
		全体	24.3%	未合格圏群の人が選んでいない選択肢1を合					0.5%	1.5%	2.6%	13.7%	2.4%	10.1%	10.3%	7.3%	16.5%	24.3%		

低所得者に対する支援と生活保護制度

問64	4,5	合格圏	29.7%	格圏群が多く選んでしまっている。恤救規則では、70歳以上、救護法では65歳以上に拡大されている。中途半端な知識が合格圏群であっても正解選択肢として認識したと考えられる。					0.8%	1.6%	1.6%	22.4%	1.2%	2.8%	10.2%	2.8%	19.1%	29.7%
		未合格圏	21.7%	0.4%	1.4%	3.0%	9.4%	3.0%	13.7%	10.4%	9.4%	15.3%	21.7%					
問65	5	全体	55.3%	24.6%	3.5%	11.9%	4.7%	55.3%	<p>→ 合格圏群は山が1つ、未合格圏群の山は2つ。選択肢1を消去できたかどうかで正解率の差になっている。生活保護は「国家責任」で行われる。そのため、多くの福祉は地方公共団体の「自治事務」であるのに対し、生活保護は「法定受託事務」となっている。</p>									
		合格圏	79.2%	12.2%	1.2%	4.9%	2.4%	79.2%										
		未合格圏	43.5%	30.6%	4.6%	15.3%	5.8%	43.5%										
問66	2	全体	66.6%	7.5%	66.6%	19.8%	2.0%	4.0%	<p>→ 両群ともに正解率が高いが、未合格圏群は選択肢3を選ぶ率が高い。国試では、差押え禁止に関して、いろいろなパターンを示して、「差押えは禁止されているが、こういう場合は認められる」といった出題がされる。しかし、どんな場合でも差押えは禁止である。その理由は保護は「最低限度の生活保障」なので、差押えすると、生存が脅かされるからである。したがって、この選択肢は、絶対に選んではいけないものである！！</p>									
		合格圏	85.0%	5.7%	85.0%	6.9%	0.4%	2.0%										
		未合格圏	57.5%	8.5%	57.5%	26.2%	2.8%	5.0%										
問67	3	全体	76.0%	13.5%	1.2%	76.0%	7.3%	2.0%	<p>→ 両群ともに正解率が高い。しかし選択肢1を選んでいる率も高い。冷静に読めば、受理しないと申請者の状況は分からないと思えるはず。「国試会場には魔物がいる！」。普段なら絶対にしないミスは必ず起きる。少しでもそのミスを起こさないことが合格基準点を超えるための最大のコツである！！</p>									
		合格圏	81.3%	11.0%	0.8%	81.3%	5.3%	1.6%										
		未合格圏	73.4%	14.7%	1.4%	73.4%	8.2%	2.2%										
問68	5	全体	46.8%	19.3%	10.2%	18.6%	5.1%	46.8%	<p>→ 合格圏群は山が1つだが、未合格圏群は山が3つある。「基準に従い」→ 施設の建築基準、職員の配置数など。「基準を標準として」→ 施設などの定員、福祉事務所の現業員数、児童相談所の児童福祉司数(2016年の法改正で「基準を参酌として」から変更されている)など。「基準を参酌して」→ 民生委員、児童委員定数など。</p>									
		合格圏	63.0%	9.3%	8.1%	15.4%	4.1%	63.0%										
		未合格圏	38.7%	24.2%	11.3%	20.2%	5.6%	38.7%										
問69	3	全体	25.1%	20.6%	17.9%	25.1%	1.2%	35.2%	<p>→ 選択率にばらつきがあることから、かなり難しい問題であったことがうかがえる。選択肢5は、都道府県が実施ではなく、都道府県の認定を受けた事業者という紛らわしい出題であったことから正解だと認識したと考えられる。</p>									
		合格圏	37.0%	11.4%	24.0%	37.0%	1.2%	26.4%										

			未合格圏	19.2%	25.2%	14.9%	19.2%	1.2%	39.5%	
問70	3	全体	39.4%	15.9%	5.4%	39.4%	18.7%	20.6%	<p>⇒ 両群ともに大きな差はないが、選択肢5の違いが正解率の差になっている。「高額介護合算療養費」は療養という言葉から医療保険、「高額医療合算介護サービス費」は介護サービスという言葉から介護保険と整理して覚えよう。</p>	
		合格圏	48.8%	11.4%	4.1%	48.8%	18.3%	17.5%		
		未合格圏	34.7%	18.1%	6.0%	34.7%	19.0%	22.2%		
問71	2	全体	29.5%	43.3%	29.5%	5.0%	15.6%	6.6%	<p>⇒ 両群ともに大きな差はない。WEB学習塾では、「循環器系の疾患が最も多い」と何度も過去問で示したので、選択肢5を選ぶ人が多いかと思ったらそうでなくてちょっとホッとしている。しかしこの選択肢を選ばなかった理由が、一番多いのは「新生物だから」と思ったとしたら要注意である。男女とも最も多いのは「循環器系」である！！</p>	
		合格圏	31.3%	42.3%	31.3%	3.3%	17.1%	6.1%		
		未合格圏	28.6%	43.8%	28.6%	5.8%	14.9%	6.9%		
問72	4	全体	21.2%	4.4%	12.9%	46.2%	21.2%	15.2%	<p>⇒ 正解は「これだ！」と分からなくても消去法で選択肢4が残るように作られた問題であった。しかし、意外に選択肢3を選ぶ率が高かった。今読めばなぜこれを選んだのだろう、と思う人も多いのではないだろうか。「試験会場には魔物が棲んでいる！」。診療報酬は中医協に諮問して厚生労働大臣が決定する。</p>	
		合格圏	22.0%	4.1%	7.3%	52.8%	22.0%	13.8%		
		未合格圏	20.8%	4.6%	15.7%	42.9%	20.8%	15.9%		
問73	1	全体	11.5%	11.5%	23.9%	13.3%	28.3%	23.0%	<p>⇒ この模試の中では最も難しかった問題の一つだと言える。このような問題は、出来なくてもともとである。今覚えれば十分である。</p>	
		合格圏	5.7%	5.7%	22.8%	11.4%	32.5%	27.6%		
		未合格圏	14.3%	14.3%	24.4%	14.3%	26.2%	20.8%		
問74	4	全体	46.8%	5.1%	0.4%	25.5%	46.8%	22.2%	<p>⇒ 両群ともに選択肢3・4・5が大きな山となっており、に大きな差は見られない。選択肢4の「退院支援加算」と選択肢5の回復期リハビリテーション病棟入院料の体制強化加算はしっかり覚えておきたい。</p>	
		合格圏	51.6%	3.3%	0.4%	24.4%	51.6%	20.3%		
		未合格圏	44.3%	6.1%	0.4%	26.1%	44.3%	23.1%		



権利擁護	問75	3.5	全体	60.8%	両群ともに大きな差はない。選択肢3は選べたが、もう一つの適切なものは、選択肢2と5で悩んだことがうかがえる。この手の問題は、不適切ではないが、「この時点では適切とは言えない」といったものが多いので、要注意である！！				1.3%	12.5%	0.0%	2.2%	18.7%	0.0%	1.8%	0.1%	60.8%	0.0%	
			合格圏	60.2%	1.6%	12.2%	0.0%	4.1%	17.1%	0.0%	2.4%	0.0%	60.2%	0.0%					
			未合格圏	61.1%	1.2%	12.7%	0.0%	1.2%	19.6%	0.0%	1.4%	0.2%	61.1%	0.0%					
	問76	5	全体	38.6%	29.0%	10.8%	17.4%	4.2%	38.6%	<p>→ 合格圏群は山が1つであるが、未合格圏群は山が2つある。選択肢1が合格率の差になって表われている。医療に関するものは基本的には市町村の役割ではない。</p>									
			合格圏	58.8%	17.6%	7.3%	13.1%	3.3%	58.8%										
			未合格圏	28.6%	34.7%	12.5%	19.6%	4.6%	28.6%										
	問77	5	全体	19.9%	7.2%	23.3%	0.7%	48.9%	19.9%	<p>→ 正解選択肢よりも間違い選択肢を選んだ率が高い選択肢があることから、難易度の高い問題であったと言える。両群ともに選択肢4を選択したのが一番多かった。しかし、この選択肢の中には、「に限り」という間違い選択肢の常とう手段がある。「人は嘘をつく時、饒舌になる」。これが正解であれば「やむを得ない事由がある場合」で十分である。</p>									
			合格圏	30.2%	6.5%	17.6%	0.0%	45.7%	30.2%										
			未合格圏	14.8%	7.5%	26.2%	1.0%	50.5%	14.8%										
	問78	1	全体	32.9%	32.9%	1.6%	52.0%	1.1%	12.3%	<p>→ 両群ともに選択肢1と3を選択した率が高い。とても難しい問題だと思うが、答えが分からないこのような問題を解く時のヒントの糸口は、共通するもの、違うものを見つけ出すことである。この問題の場合、選択肢1が行政処分、それ以外はすべて行政処分でない。権利擁護は午前の最後の科目なので疲れ切っていると思うが、最後の力を出し切ることが正解につながる！！</p>									
			合格圏	42.8%	42.8%	0.8%	46.9%	0.8%	8.6%										
			未合格圏	28.1%	28.1%	2.0%	54.5%	1.2%	14.1%										
問79	3.4	全体	19.3%	両群ともに、選択肢2と3で悩んだことがうかがわれる。選択肢3を正解にしにくいとは思いますが、冷静に読めば選択肢2は消去できたはず。「自由」がどんな場合にも許されるなら、とんでもない社会になってしまう。				0.8%	0.8%	2.6%	0.1%	6.1%	50.4%	3.9%	19.3%	1.4%	6.9%		
		合格圏	32.9%	1.2%	1.6%	2.0%	0.4%	6.1%	38.2%	0.8%	32.9%	2.0%	10.6%						
		未合格圏	12.6%	0.6%	0.4%	2.8%	0.0%	6.1%	56.5%	5.5%	12.6%	1.0%	5.1%						
			全体	57.7%	57.7%	12.3%	2.6%	20.2%	7.2%	<p>→ 両群ともに正解率が高いが、未合格圏群は選択肢3を選ぶ率が若干高い。これも日本語</p>									



成年後見制度	問80	1	合格圏	73.1%	73.1%	4.1%	2.0%	14.7%	6.1%	的に読めば、「人は嘘をつく時、饒舌になる」の例である。これが正解なら、「成年後見人は、居住用の不動産を処分することができる」で事足りるからである。「事前に家庭裁判所の許可を求めることなく」の部分が余計である。これがあるから、逆に「許可を求める必要がありそうだ」というヒントを与えてくれている。
			未合格圏	50.0%	50.0%	16.5%	2.8%	23.0%	7.7%	
	問81	2	全体	38.6%	15.7%	38.6%	14.2%	24.5%	7.0%	⇒ 両群ともに選択肢2を選択している率が最も高い。しかし、それ以外の選択肢を選んでいる人は深読みのしすぎかもしれない。「成年後見関係事件の概況」は出題率が高いが、多くの場合報告書などからの出題は予測することが難しい。報告書問題を模試で解く意味は、自分の読みがずれていないか、確かめることである。読みが当たっていれば自信を持って良いし、外れていたらなぜそのように考えたのかを振り返ってみよう。
			合格圏	45.9%	13.8%	45.9%	20.3%	17.1%	2.8%	
			未合格圏	35.0%	16.6%	35.0%	11.1%	28.1%	9.1%	
	問82	4	全体	66.9%	23.5%	6.4%	1.9%	66.9%	1.4%	⇒ 両群ともに正解率が高い。しかし未合格圏群では、選択肢1を選ぶ率も高い。任意後見契約は、公正証書の作成によって行われることはしっかり覚えておこう！！
			合格圏	79.2%	17.1%	2.9%	0.4%	79.2%	0.4%	
			未合格圏	60.8%	26.6%	8.1%	2.6%	60.8%	1.8%	
	問83	5	全体	94.3%	1.1%	0.3%	0.1%	4.2%	94.3%	⇒ 両群ともに正解率は極めて高い。このような問題は確実に正解したい。間違った人はなぜ間違ってしまったのかを必ず振り返ることが必要である。その振り返りこそが国試当日に実力通りの力を発揮することになる。頑張れ！！
			合格圏	97.2%	0.8%	0.4%	0.0%	1.6%	97.2%	
			未合格圏	92.9%	1.2%	0.2%	0.2%	5.5%	92.9%	

	問題	正答	群	正解率	1つ選ぶ問題					2つ選ぶ問題								
					1	2	3	4	5	1,2	1,3	1,4	1,5	2,3	2,4	2,5	3,4	3,5
社会調査の基礎	問84	2	全体	41.4%	4.2%	41.4%	40.5%	2.2%	11.8%	<p>▶ 両群ともに選択肢2と3を残してそこから選んだことがうかがえる。選択肢2を選ばなかったのは「1年」という部分に引っ掛かったのかもしれない。しかし選択肢3は「標本調査」となっているので、冷静に読めば、間違いだと分かったはず。「試験会場には魔物が棲んでいる！」。本試験ではこのようなミスは極力減らそう！！</p>								
			合格圏	57.1%	2.4%	57.1%	24.6%	1.6%	14.3%									
			未合格圏	36.8%	4.7%	36.8%	45.2%	2.3%	11.0%									
	問85	5	全体	10.0%	17.7%	63.6%	1.9%	6.9%	10.0%	<p>▶ 両群ともに間違い選択肢である2を選ぶ率が高かった。選択肢5を正解することができず、おそらく「変だな」と思いながらも選択肢2を選択したものと思われる。この手の問題は正解できればラッキー問題である。今ここで覚えてしまおう！！</p>								
			合格圏	15.9%	16.7%	62.7%	2.4%	2.4%	15.9%									
			未合格圏	8.3%	18.0%	63.8%	1.7%	8.3%	8.3%									
	問86	1	全体	23.6%	23.6%	10.2%	13.6%	17.6%	35.0%	<p>▶ 両群ともに間違い選択肢である5を選ぶ率が高かった。とても難しい問題だったと言える。それよりも注目したいのは、合格圏群は間違い選択肢である2と3と4はしっかり消去できていることである。「答えはこれだ！」と分からなくても、選択肢を1つでも2つでも消去することができれば、正解に近づくことができる！！</p>								
			合格圏	34.9%	34.9%	3.2%	6.3%	11.9%	43.7%									
			未合格圏	20.2%	20.2%	12.2%	15.8%	19.3%	32.5%									
	問87	4	全体	43.2%	7.8%	42.5%	4.5%	43.2%	2.0%	<p>▶ 選択肢2のダブルバーレル質問をしっかりと理解していたかどうかで正解率を高める問題だったと言える。そのほかのものもしっかり押さえておきたい！！</p>								
			合格圏	63.5%	1.6%	32.5%	2.4%	63.5%	0.0%									
			未合格圏	37.2%	9.6%	45.4%	5.2%	37.2%	2.6%									
問88	3	全体	23.7%	13.8%	4.9%	23.7%	36.4%	21.2%	<p>▶ 両群ともに間違いである選択肢4を選ぶ率が高かった。しかし、この問題は「人は嘘をつく時、饒舌になる」の典型例である。これが正解だった場合は、「～～散布度には、範囲、四分位範囲、分散、歪度、尖度などがある」で良いはずである。「歪度や尖度も含まれる」というのは、余計な部分である。この表記があるから、「含まれない」という予測ができる。全然分からない問題の時はこんな考え方も必要である。選択肢を1つでも多く消去できれば正解に近づく！！</p>									
		合格圏	27.8%	7.1%	0.8%	27.8%	45.2%	19.0%										
		未合格圏	22.5%	15.7%	6.1%	22.5%	33.8%	21.8%										

問89	4	全体	38.2%	12.0%	2.2%	26.1%	38.2%	21.6%	<p>⇒ 合格圏群は山が2つ、未合格圏群は山が3つある。選択肢3を消去できると正解率が上がった。この手の問題は、勉強不足の人が不正解にするためのものである。「半」という言葉から、「時間が半分」というイメージに引きずりこもうとする意図が見え隠れする作問である。勉強不足の人は特に気をつけてほしい！！ 国試ではよく使われる。</p>					
		合格圏	56.3%	3.2%	1.6%	17.5%	56.3%	21.4%						
		未合格圏	32.9%	14.6%	2.3%	28.6%	32.9%	21.6%						
問90	5	全体	51.9%	2.4%	19.8%	1.1%	24.9%	51.9%	<p>⇒ 合格圏群は山が1つ、未合格圏群の山は3つである。未合格圏群が悩んだ選択肢2も4も冷静に読めば分かったのではないだろうか。特に選択肢4のアクションリサーチは1問丸ごと出題されたことがある。この機会にしっかり覚えておこう！！</p>					
		合格圏	75.4%	1.6%	14.3%	0.0%	8.7%	75.4%						
		未合格圏	44.9%	2.6%	21.4%	1.4%	29.6%	44.9%						
問91	3,5	全体	91.5%	<p>両群ともに正解率が極めて高い。この手の問題は、「2つ選ぶ」を見落とさないことが重要である！！</p>	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	2.2%	0.0%	3.3%	0.4%	91.5%	0.5%
		合格圏	96.8%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.8%	0.8%	96.8%	0.0%
		未合格圏	89.9%		0.0%	0.2%	0.0%	0.5%	2.3%	0.0%	4.0%	0.2%	89.9%	0.7%
問92	2	全体	48.9%	0.9%	48.9%	16.2%	27.2%	6.8%	<p>⇒ 両群ともに山は2つで大きな差は見られない。グローバル定義は必ず出題されると思われるので、日総研模試以外の模試でもグローバル定義に関するものは、貪欲に確実に押さえておきたい！！</p>					
		合格圏	53.6%	0.0%	53.6%	19.2%	20.8%	6.4%						
		未合格圏	47.5%	1.2%	47.5%	15.4%	29.1%	6.9%						
問93	1	全体	46.5%	46.5%	15.6%	7.6%	7.8%	22.6%	<p>⇒ 両群ともに大きな差は見られない。人名問題は少ないが、これは頻出なので、このくらいはしっかり覚えておきたい。</p>					
		合格圏	57.1%	57.1%	11.1%	4.0%	8.7%	19.0%						
		未合格圏	43.3%	43.3%	16.9%	8.7%	7.5%	23.7%						
問94	4	全体	23.7%	16.1%	10.7%	31.3%	23.7%	18.1%	<p>⇒ COSは頻出だが、正解率がこの程度にとどまっているのは、歴史は本当に苦手なのだなぁと実感するところである。しかし、超頻出である。歴史が苦手だと言っても最低このくらいは解けるようにしておきたい。ここで着目したいのは、選択肢2である。合格圏群ではほとんど選定しているが、未合格圏群では苦手見られる。</p>					
		合格圏	35.7%	12.7%	4.8%	24.6%	35.7%	22.2%						

		未合格圏	20.2%	17.1%	12.4%	33.3%	20.2%	16.9%	選択肢していないか、不正答圏群では若干見られる。											
問95	4,5	全体	95.7%	両群ともに正解率が極めて高い。この手の問題は、「2つ選ぶ」を見落とさないことが重要である！！					0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	1.8%	0.5%	95.7%		
		合格圏	99.2%						0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	99.2%
		未合格圏	94.6%						0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	2.1%	0.7%	94.6%		
問96	3	全体	82.5%	17.3%	0.0%	82.5%	0.2%	0.0%	→ この手の問題を解く時のポイントは、「この時点」でもっとも適切なもの考えることである。一度答えを決めても、より適切な選択肢があるかもしれない、と考えて解くことが大切である！！											
		合格圏	83.9%	15.3%	0.0%	83.9%	0.8%	0.0%												
		未合格圏	82.1%	17.9%	0.0%	82.1%	0.0%	0.0%												
問97	3	全体	58.5%	3.1%	19.7%	58.5%	16.5%	2.2%	→ 両群に大きな差は見られない。この手の問題は、とにかく落ち着いて問題を読むことが大切である。											
		合格圏	61.9%	4.0%	15.1%	61.9%	17.5%	1.6%												
		未合格圏	57.5%	2.8%	21.1%	57.5%	16.2%	2.3%												
問98	3	全体	74.3%	5.3%	3.6%	74.3%	9.8%	7.1%	→ 両群ともに正解率が高い。システム理論は極めて重要なので、しっかり押さえておくことが大切である。その理解の差が正解率に表われている。											
		合格圏	91.3%	2.4%	1.6%	91.3%	2.4%	2.4%												
		未合格圏	69.2%	6.1%	4.2%	69.2%	12.0%	8.5%												
問99	3	全体	71.1%	13.0%	3.4%	71.1%	10.7%	1.8%	→ 両群ともに正解率が高い。正解率の差は、選択肢1と選択肢4が消去できているかどうかである。相談援助の理論は、事例があるので得点しやすいが、こういう問題で確実に得点していかないと全体の得点は伸びない。											
		合格圏	86.5%	6.3%	1.6%	86.5%	4.8%	0.8%												
		未合格圏	66.5%	15.0%	4.0%	66.5%	12.4%	2.1%												
		全体	26.5%	25.2%	26.5%	14.9%	20.7%	12.7%												

問100	2	合格圏	41.9%	25.0%	41.9%	16.1%	11.3%	5.6%	<p>➡ <b>さまざまなアプローチは、出題率100%！</b> しかも、年度によって2問出題されることもある。このようなところをしっかりと得点できるかどうか合否を分ける1点2点につながる。</p>
		未合格圏	22.0%	25.3%	22.0%	14.5%	23.4%	14.8%	
問101	2	全体	49.2%	10.7%	49.2%	18.1%	19.9%	2.2%	<p>➡ <b>さまざまなアプローチは、出題率100%！</b> しかも、年度によって2問出題されることもある。このようなところをしっかりと得点できるかどうか合否を分ける1点2点につながる。</p>
		合格圏	52.4%	11.9%	52.4%	19.8%	15.9%	0.0%	
		未合格圏	48.2%	10.3%	48.2%	17.6%	21.1%	2.8%	
問102	2	全体	92.4%	5.3%	92.4%	0.4%	0.0%	2.0%	<p>➡ この手の問題を解く時のポイントは、「この時点」でもっとも適切なもの考えることである。一度答えを決めても、より適切な選択肢があるかもしれない、と考えて解くことが大切である！！</p>
		合格圏	96.8%	3.2%	96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
		未合格圏	91.1%	5.9%	91.1%	0.5%	0.0%	2.6%	
問103	1	全体	82.2%	82.2%	1.3%	0.0%	6.0%	10.5%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。正解率の差は、選択肢5である。これを選んだ人はなぜこれを選ぶことになった思考プロセスを振り返ってみよう！！</p>
		合格圏	95.2%	95.2%	0.0%	0.0%	1.6%	3.2%	
		未合格圏	78.4%	78.4%	1.6%	0.0%	7.3%	12.7%	
問104	1	全体	89.7%	89.7%	1.8%	5.4%	0.0%	3.1%	<p>➡ 両群ともに正解率が高く、大きな差は見られない。正解できなかった人はなぜ正解できなかったのかをしっかりと振り返ることが必要である。こういうところで確実に得点を伸ばすことが合格につながる。難しい問題は誰もが解けない。得点しやすい問題でミスしない問題の読み方の訓練がこれからは最も重要であることを肝に銘じよう！！</p>
		合格圏	92.9%	92.9%	0.8%	4.8%	0.0%	1.6%	
		未合格圏	88.8%	88.8%	2.1%	5.6%	0.0%	3.5%	
問105	4	全体	76.4%	8.7%	0.2%	13.6%	76.4%	1.1%	<p>➡ 両群ともに正解率が高く、大きな差は見られない。正解できなかった人はなぜ正解できなかったのかをしっかりと振り返ることが必要である。こういうところで確実に得点を伸ばすことが合格につながる。難しい問題は誰もが解けない。得点しやすい問題でミスしない問題の読み方の訓練がこれからは最も重要であることを肝に銘じよう！！</p>
		合格圏	82.5%	6.3%	0.0%	11.1%	82.5%	0.0%	
		未合格圏	74.5%	9.4%	0.2%	14.4%	74.5%	1.4%	

相談援助の理論と方法

問106	1	全体	88.2%	88.2%	0.0%	0.0%	0.5%	11.2%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。違いは未合格圏群が選択肢5を選択している率が高いことである。モニタリングはいつ行うのか、どのようなことを行うのか、が分かりにくいので、国試ではそこがねらわれてよく出題されている。モニタリングは要注意である！！</p>
		合格圏	96.8%	96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	
		未合格圏	85.7%	85.7%	0.0%	0.0%	0.7%	13.6%	
問107	4	全体	85.0%	8.5%	1.8%	3.4%	85.0%	1.3%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。合格圏群は選択肢2と3と5を完全に消去できていることが分かる。この辺りをしっかり押さえておくことが確実な得点力アップにつながるため重要である。</p>
		合格圏	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	94.4%	0.0%	
		未合格圏	82.2%	9.4%	2.3%	4.5%	82.2%	1.6%	
問108	2	全体	75.6%	16.1%	75.6%	2.7%	1.6%	4.0%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。得点出来なかった人も後から冷静に読めば答えは分かったと思う。この手の問題は「最も適切なもの」を選ぶので、選択肢1も不適切とは言えないが、選択肢2の方がより適切である。最初に答えを選んでも「もっと適切なものがないか？」に気を付けよう！！</p>
		合格圏	81.7%	13.5%	81.7%	0.0%	0.8%	4.0%	
		未合格圏	73.8%	16.9%	73.8%	3.5%	1.9%	4.0%	
問109	5	全体	42.7%	3.6%	5.8%	0.4%	47.6%	42.7%	<p>➡ 両群ともに選択肢4と5で悩んだ様子がうかがえる。この手の問題のポイントは「この時点で」という視点を忘れないことである。事例で確実に得点するには、慣れも必要である。</p>
		合格圏	48.4%	0.8%	7.1%	0.8%	42.9%	48.4%	
		未合格圏	41.0%	4.4%	5.4%	0.2%	48.9%	41.0%	
問110	3	全体	88.6%	3.8%	1.6%	88.6%	0.0%	6.0%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。得点出来なかった人も後から冷静に読めば答えは分かったと思う。ケアマネジメントやネットワーキングに関する問題は、フォーマル、インフォーマルな社会資源を活用することに絡めて出題されることが多い。選択肢1を選んだ人は特に要注意である！！</p>
		合格圏	95.2%	0.8%	0.0%	95.2%	0.0%	4.0%	
		未合格圏	86.7%	4.7%	2.1%	86.7%	0.0%	6.6%	
問111	1	全体	90.1%	90.1%	3.1%	0.4%	2.4%	4.2%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。合格圏群は選択肢2と3と4を完全に消去できていることが分かる。この辺りをしっかり押さえておくことが確実な得点力アップにつながるため重要である。</p>
		合格圏	98.4%	98.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	

		未合格圏	87.6%	87.6%	4.0%	0.5%	3.0%	4.9%										
問112	2	全体	38.0%	21.9%	38.0%	8.5%	0.0%	31.6%	<p>→ 両群ともに大きな差が見られない。正解率に差が生じているのは、選択肢1を消去できたかの誓いであると言える。ミクロ → 対クライアント, メゾ → 対地域社会, マクロ → 対国家 はしっかり押さえておこう！</p>									
		合格圏	46.8%	16.7%	46.8%	4.0%	0.0%	32.5%										
		未合格圏	35.4%	23.4%	35.4%	9.8%	0.0%	31.4%										
問113	5	全体	79.0%	0.5%	2.2%	6.5%	11.8%	79.0%	<p>→ 両群ともに正解率が高い。差が出ているのは、選択肢2を消去できたかどうかである。正解できなかった人は、なぜその選択肢を選んだのか、その思考プロセスを振り返ることが大切である。</p>									
		合格圏	92.1%	0.0%	0.8%	3.2%	4.0%	92.1%										
		未合格圏	75.2%	0.7%	2.6%	7.5%	14.1%	75.2%										
問114	5	全体	58.1%	0.2%	0.4%	8.2%	33.2%	58.1%	<p>→ 両群ともに選択肢4と5で悩んだ様子がうかがえる。この手の問題は「最も適切なもの」を探り当てることが大切である。</p>									
		合格圏	74.0%	0.0%	0.0%	2.4%	23.6%	74.0%										
		未合格圏	53.5%	0.2%	0.5%	9.9%	35.9%	53.5%										
問115	1	全体	62.7%	62.7%	22.4%	1.1%	9.2%	4.5%	<p>→ 両群ともに正解率が高い。差が出ているのは、選択肢2を消去できたかどうかである。スーパービジョンとコンサルテーションの違いはしっかり押さえておこう！！</p>									
		合格圏	83.3%	83.3%	15.1%	0.0%	1.6%	0.0%										
		未合格圏	56.7%	56.7%	24.6%	1.4%	11.5%	5.9%										
問116	4	全体	29.8%	44.1%	7.2%	16.8%	29.8%	2.0%	<p>→ 両群ともに選択肢1と選択肢4で悩んだ様子がうかがえる。ジェノグラムとファミリーマップの違いはしっかり押さえておこう！</p>									
		合格圏	46.0%	36.5%	3.2%	12.7%	46.0%	1.6%										
		未合格圏	25.1%	46.4%	8.4%	18.0%	25.1%	2.1%										
		全体	15.3%						20.6%	5.2%	3.3%	15.3%	7.0%	5.2%	20.0%	0.2%	1.2%	0.8%



問117	1.5	合格圏	15.9%	両群ともに、選択肢1と2と5で悩んだ様子が見られる。選択肢2の叙述体では、心情的な部分に焦点を当てるのは難しい。					19.8%	6.3%	2.4%	15.9%	4.8%	4.0%	20.6%	0.8%	4.8%	3.2%	
		未合格圏	15.0%						20.9%	4.7%	3.6%	15.0%	7.8%	5.6%	19.8%	0.0%	0.0%	0.0%	
	問118	2.4	全体	50.6%	両群ともに、選択肢2と4と5で悩んだ様子が見られる。選択肢5を選んだ人は、災害という非常時であることをイメージすると平時とは違う対応が求められることが見えてくる。					3.3%	0.7%	5.7%	1.2%	7.4%	50.6%	22.8%	1.2%	2.1%	2.4%
			合格圏	57.1%						0.8%	0.0%	3.2%	0.0%	2.4%	57.1%	15.1%	4.0%	7.1%	7.9%
			未合格圏	47.8%						4.4%	1.0%	6.8%	1.7%	9.5%	47.8%	26.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	問119	正当なし	全体		28.4%	28.9%	3.6%	21.7%	17.4%	➡ 言葉が足りずに不適切問題になってしまったが、一つひとつの選択肢は極めて重要である。しっかり押さえて欲しい。									
合格圏				38.9%	25.4%	5.6%	11.9%	18.3%											
未合格圏				25.3%	30.0%	3.0%	24.6%	17.1%											
問120	2.5	全体	19.9%	両群ともに、選択肢2は選んでいるが2つめが何であるかが迷った様子が見られる。NPO法人と社会福祉法人にはいろいろな違いがある。それらをしっかり押さえておきたい。					11.6%	3.6%	7.4%	8.3%	8.9%	14.3%	19.9%	4.9%	3.4%	5.1%	
		合格圏	30.2%						15.1%	0.8%	4.8%	4.8%	11.1%	15.1%	30.2%	4.0%	1.6%	6.3%	
		未合格圏	16.9%						10.6%	4.5%	8.2%	9.4%	8.2%	14.1%	16.9%	5.2%	4.0%	4.7%	
問121	2	全体	48.3%	0.4%	48.3%	16.5%	34.7%	0.2%	➡ 両群ともに選択肢1と選択肢5は消去たできている。両群に差が出ているのは、選択肢3である。PM理論は、心理学理論にも出題されることがあるので、P(パフォーマンス)機能、M(メンテナンス)機能はしっかり押さえておきたい。コンティンジェンシー理論とは何かもしっかり押さえておきたい。										
		合格圏	59.5%	0.0%	59.5%	7.9%	32.5%	0.0%											
		未合格圏	45.0%	0.5%	45.0%	19.0%	35.4%	0.2%											
問122	3.5	全体	19.8%	両群ともに選択肢3と4と5で悩んだ様子が見える。選択肢4は減価償却である。減価償却が引っ掛けに使われることが多い。土地は時間の経過によって価値は目減りしないので、減価償却の対象にならない。					0.4%	4.5%	6.9%	8.1%	6.9%	12.2%	14.5%	7.1%	19.8%	4.9%	
		合格圏	66.7%						0.0%	3.2%	0.0%	0.8%	0.0%	1.6%	1.6%	11.1%	66.7%	4.0%	
		未合格圏	49.2%						0.5%	1.2%	0.2%	1.4%	1.4%	0.7%	0.9%	25.1%	49.2%	8.4%	

問123	4	全体	47.6%	20.2%	16.7%	13.8%	47.6%	1.6%	<p>➡ 両群の正解率は大きな差となっている。選択肢2は合格圏群はほとんど選択していないことに着目しよう。なじみがないものかもしれないが、こういうところで得点できるかどうかが最終的な合否につながってくるが多にだけしっかり押さえておきたい。選択肢を1つでも2つでも多く消去できることが正解に近づくことになる。消去法こそが最強の解答テクニックである。</p>										
		合格圏	66.7%	19.0%	4.8%	9.5%	66.7%	0.0%											
		未合格圏	42.0%	20.5%	20.3%	15.1%	42.0%	2.1%											
問124	1,5	全体	24.4%	<p>➡ 両群ともに確実に消去出来たのは、選択肢2だけである。それ以外はばらつきがあるので、かなり難易度の高い問題だったと言える。労働基準法は過去に出題されたものは最低押さえておきたい。苦手意識があったら捨ててしまうことも時には必要である。</p>					6.5%	14.3%	14.8%	24.4%	2.2%	1.3%	4.2%	5.6%	15.7%	6.3%	
		合格圏	24.6%						11.1%	17.5%	22.2%	24.6%	0.8%	0.8%	2.4%	3.2%	10.3%	6.3%	
		未合格圏	24.4%						5.2%	13.3%	12.6%	24.4%	2.6%	1.4%	4.7%	6.3%	17.3%	6.3%	
問125	2,4	全体	30.6%	<p>両群ともに選択肢1と4と5で悩んだ様子がうかがわれる。難易度が高いので解けなくとも良いものだと思われる。しかしせつかくの出題なので、今しっかり押さえておきたい。</p>					5.4%	1.6%	25.3%	1.1%	2.0%	30.6%	2.9%	13.4%	1.1%	9.6%	
		合格圏	39.7%						5.6%	1.6%	22.2%	2.4%	2.4%	39.7%	2.4%	11.1%	0.0%	9.5%	
		未合格圏	27.9%						5.4%	1.6%	26.2%	0.7%	1.9%	27.9%	3.0%	14.1%	1.4%	9.6%	
問126	2	全体	43.8%	3.8%	43.8%	9.8%	9.3%	33.3%	<p>➡ 両群ともに選択肢2と5で悩んだ様子がうかがわれる。正解率の差は選択肢5を消去できたかどうかである。社会人の受験生の中には、発展過程をリアルタイムで経験してきた人もいるはず。そういう面で。経験豊富な社会人は、学生よりも有利だと言える！！マーク式の問題は必ずその中に答えがある。頑張れ、社会人受験生！！</p>										
		合格圏	56.3%	4.8%	56.3%	9.5%	5.6%	23.8%											
		未合格圏	40.1%	3.5%	40.1%	9.9%	10.4%	36.1%											
問127	3	全体	88.9%	0.7%	2.5%	88.9%	6.9%	0.9%	<p>➡ 両群ともに正解率が極めて高い。正解できなかった人は、頭の中でシミュレーションしてみよう。どうしたらうまく着脱、移乗などができるかが分かるはずである。</p>										
		合格圏	92.8%	0.0%	0.8%	92.8%	4.8%	1.6%											
		未合格圏	87.8%	0.9%	3.1%	87.8%	7.5%	0.7%											
問128	3,5	全体	12.0%	<p>総合事業は、複雑だから出題される可能性は極めて高い。正解できなかった人は、この時点で整理しよう！</p>					8.0%	0.4%	5.5%	3.8%	16.0%	14.5%	20.5%	8.2%	12.0%	8.4%	
		合格圏	17.5%						7.1%	0.0%	1.6%	2.4%	26.2%	6.3%	27.0%	7.1%	17.5%	3.2%	

高齢者に対する支援と介護保険制度

		未合格圏	10.4%							8.3%	0.5%	6.6%	4.2%	13.0%	17.0%	18.6%	8.5%	10.4%	9.9%	
問129	2.5	全体	25.4%	両群ともに、選択肢2と3と5で悩んだ様子がかがえる。かなり難易度が高い問題であったと言える。正解できなかった人は、今の時点で覚えよう！！						3.1%	2.7%	0.7%	4.3%	19.2%	2.4%	25.4%	3.8%	30.3%	4.3%	
		合格圏	30.2%								2.4%	2.4%	0.8%	1.6%	21.4%	1.6%	30.2%	3.2%	29.4%	5.6%
		未合格圏	23.9%								3.3%	2.8%	0.7%	5.2%	18.5%	2.6%	23.9%	4.0%	30.5%	4.0%
問130	3.4	全体	94.4%	両群ともに正解率が極めて高い。この手の問題は、「2つ選ぶ」を見落とさないことが重要である！！						0.0%	0.5%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	94.4%	1.3%	1.4%	
		合格圏	96.8%								0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.8%	0.0%	1.6%
		未合格圏	93.7%								0.0%	0.7%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	93.7%	1.6%	1.4%
問131	5	全体	71.9%	2.7%	0.5%	9.6%	15.2%	71.9%	➡ 両群ともに正解率が極めて高い。正解率の差は、選択肢1と2と3を消去できたかどうかである。1つでも2つでも多く消去できることが、得点力を高める。冷静に読めばこれらは消去できたはずである。「試験会場には魔物が棲んでいる！」。冷静に問題を読むためには訓練が欠かせない。											
		合格圏	82.5%	0.8%	0.0%	5.6%	11.1%	82.5%												
		未合格圏	68.7%	3.3%	0.7%	10.8%	16.5%	68.7%												
問132	4	全体	74.3%	11.1%	13.4%	1.1%	74.3%	0.2%	➡ 両群ともに正解率が極めて高い。正解率の差は、選択肢1と2と3を消去できたかどうかである。1つでも2つでも多く消去できることが、得点力を高める。											
		合格圏	82.5%	7.9%	8.7%	0.8%	82.5%	0.0%												
		未合格圏	71.8%	12.0%	14.8%	1.2%	71.8%	0.2%												
問133	1	全体	27.4%	27.4%	6.2%	10.7%	27.5%	28.3%	➡ 両群ともに選択肢2と3は消去できたが、多くの人は選択肢1と4と5はどれが正解なのかが皆目見当がつかなかった様子がかがわれる。解けなかった人は今ここで覚えよう！！											
		合格圏	32.5%	32.5%	4.0%	9.5%	27.0%	27.0%												
		未合格圏	25.8%	25.8%	6.8%	11.0%	27.7%	28.6%												
		全体	46.1%	要介護認定に不服がある時 ➡ 介護保険審査会(都道府県に設置) 障害支援区分認定に不服がある時 ➡ 都道府県																
										3.8%	6.4%	0.0%	4.9%	14.7%	0.4%	17.2%	1.6%	46.1%	1.6%	

問134	3,5	合格圏	73.8%	<p>知事 ※障害者介護給付等不服審査会の設置は任意なので、設置していた場合は、都道府県知事が障害者介護給付等不服審査会に審査を行なわせることができる。(しかし請求先は都道府県知事)</p> <p>生活保護の決定に不服がある時 → 都道府県知事</p> <p>国民健康保険の保険料に不服がある時 → 国民健康保険審査会(都道府県に設置)</p> <p>保育所利用の処分に不服がある時 → 市町村長</p> <p>※介護保険サービス内容に不服がある時 → 国民健康保険団体連合会(国保連)</p>					1.6%	3.2%	0.0%	4.0%	4.0%	0.8%	8.7%	0.8%	73.8%	1.6%	
		未合格圏	37.9%						4.5%	7.3%	0.0%	5.2%	17.9%	0.2%	19.8%	1.9%	37.9%	1.6%	
	問135	2,4	全体						74.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	74.8%	2.0%	0.5%	0.0%	20.7%
			合格圏						71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	4.0%	0.0%	0.0%	23.8%
			未合格圏						75.8%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.8%	1.4%	0.7%	0.0%	19.7%
	問136	1	全体						66.3%	66.3%	14.9%	7.2%	7.8%	3.8%	<p>→ 両群ともに正解率が極めて高い。正解率に差が出たのは、選択肢2を消去できたかどうかである。児童福祉にかかわった人たちについては、石井十次、石井亮一、留岡幸助、野口幽香、糸賀一雄をしっかり押さえておきたい。その中で最も出題回数が多いのは留岡幸助である。</p>				
合格圏			81.0%	81.0%	8.7%	4.0%	5.6%	0.8%											
未合格圏			62.0%	62.0%	16.7%	8.2%	8.5%	4.7%											
問137	5	全体	47.9%	6.4%	2.5%	26.9%	16.3%	47.9%	<p>→ 両群の正解率の差は極めて大きい。複雑であるが、WEB学習塾の「児童・家庭」で整理してあるので、今一度整理しておきたい。</p>										
		合格圏	71.4%	2.4%	1.6%	17.5%	7.1%	71.4%											
		未合格圏	40.9%	7.5%	2.8%	29.6%	19.1%	40.9%											
問138	4	全体	25.1%	1.8%	37.8%	16.5%	25.1%	18.7%	<p>→ この問題の正解率が低くなっている理由の一つは、選択肢の文字数が多めになっていることがある。長い選択肢は引っ掛けポイントがいくつか作れるので難易度が高くなる。現在の国試ではあまりこのパターンは見られないが、児童福祉施設はしっかり押さえておくことが必要である。正解できなかった人は今ここで覚えて欲しい。</p>										
		合格圏	38.1%	0.8%	26.2%	23.8%	38.1%	11.1%											
		未合格圏	21.2%	2.1%	41.3%	14.4%	21.2%	21.0%											
問139	2	全体	27.6%	6.4%	27.6%	20.0%	25.8%	20.3%	<p>→ 合格圏群は山が2つ、未合格圏群は山が4つになっている。未合格圏群が消去できたのは選択肢1だけだったことが分かる。その他の選択肢の選択率はほぼ一緒だったことから、未合格圏群にとっては極めて難しい問題だったことがうかがわれる。その問題でも合格圏群の半数が正解できているのは、選択肢3と5も消去できていることに他ならない。母子保健法は昨年改正されて「母子健康包括支援センター」(母子保健センターから改称、市町村に努力義務)が規定された。合わせて覚えておこう!!</p>										
		合格圏	46.8%	1.6%	46.8%	14.3%	23.0%	14.3%											
		未合格圏	21.9%	7.8%	21.9%	21.6%	26.6%	22.1%											

・ 家庭福祉制度	問140	3	全体	35.9%	24.6%	6.7%	35.9%	1.3%	31.5%	<p>→ 合格圏群は山が2つ、未合格圏群は山が3つになっている。合格圏群は選択肢5も選んでいる率が高いが、おそらくこの問題で正解できた人は、「答えはこれだ」と思って正解を選べた問題だったのではないかと想像している。正解できなかった人も今ここで覚えよう！！</p>
			合格圏	55.6%	15.1%	2.4%	55.6%	0.0%	27.0%	
			未合格圏	30.0%	27.4%	8.0%	30.0%	1.7%	32.9%	
	問141	3	全体	65.5%	1.0%	3.5%	65.5%	10.9%	19.2%	<p>→ 両群とも正解率が極めて高い。児童・家庭制度は複雑そうに見えるが、押さえておくべきポイントは、実はそれほど複雑ではない。その理由は「高齢者」のように制度がころころ変わらないからである。この科目が苦手な人は、WEB学習塾の過去問をしっかりと解いて制度をしっかりと押さえて行こう！！大きく制度が変わらないので、過去問が活きる！！</p>
			合格圏	65.1%	0.8%	11.1%	65.1%	6.3%	16.7%	
			未合格圏	65.6%	1.0%	1.0%	65.6%	12.4%	20.0%	
	問142	2	全体	49.6%	7.4%	49.6%	8.5%	33.6%	0.9%	<p>→ 両群の山は一緒だが、正解率に大きな差が見られる。選択肢4は一見正しそうに見えるが、通告を受けているのに見相が動かないのは、不適切で、極めて危険である。</p>
			合格圏	63.5%	4.0%	63.5%	5.6%	26.2%	0.8%	
			未合格圏	45.5%	8.4%	45.5%	9.3%	35.9%	1.0%	
就労支援サービス	問143	5	全体	38.2%	0.4%	26.4%	28.2%	6.9%	38.2%	<p>→ 両群に差が出ているのは、選択肢3を消去できたかどうかである。この問題は超頻出である。正解できなかった人は、整理して覚えよう。覚えにくい人は紙に整理して書き出すことも有効である。</p>
			合格圏	46.0%	0.0%	30.2%	19.8%	4.0%	46.0%	
			未合格圏	35.8%	0.5%	25.2%	30.7%	7.8%	35.8%	
	問144	4	全体	43.6%	7.8%	2.7%	24.9%	43.6%	20.9%	<p>→ 両群に大きな差が出ている。特に大きな差が出ているのは選択肢5である。イメージ記憶法「ハローナビ！」(ハローワークに配置されるのは就職支援ナビゲーター)を覚えていた人は消去できたのではないだろうか。</p>
			合格圏	65.1%	4.8%	0.8%	21.4%	65.1%	7.9%	
			未合格圏	37.3%	8.7%	3.3%	25.9%	37.3%	24.8%	
	問145	4	全体	37.6%	15.6%	30.9%	8.4%	37.6%	7.5%	<p>→ 両群に大きな差が出ている。特に大きな差が出ているのは選択肢2である。法定雇用率は、精神障害者の雇用義務化に伴い平成30年度に見直される予定であるが、現行制度はしっかりと押さえておきたい。</p>
			合格圏	63.5%	10.3%	19.0%	3.2%	63.5%	4.0%	

			未合格圏	30.0%	17.2%	34.4%	9.9%	30.0%	8.5%	
	問146	5	全体	60.7%	3.3%	24.0%	10.9%	1.1%	60.7%	<p>➡ 両群ともに正解率が高い。正解率に差が出たのは選択肢2が消去できたかどうかである。障害者の就労支援には、障害者雇用促進法に基づくものと障害者総合支援法に基づくものがある。雇用促進法は一般就労、総合支援法は福祉的就労といったように整理して覚えるとよい。また、総合支援法によるものは、就労移行支援と就労継続支援のみ、そのほかは雇用促進法だと覚えるとシンプルになる。</p>
合格圏			72.2%	2.4%	18.3%	7.1%	0.0%	72.2%		
未合格圏			57.3%	3.5%	25.7%	12.0%	1.4%	57.3%		
更生保護制度	問147	2	全体	36.6%	3.1%	36.6%	14.4%	5.3%	40.6%	<p>➡ 両群ともに選択肢2と5で悩んだ様子がうかがわれる。合格圏群は正解選択肢2を選び、未合格圏群は間違い選択肢を選んでる。更生保護には勉強時間をあまりかけない傾向にあるが、出題範囲は極めて狭い。この科目が苦手だと思っている人は、WEB学習塾の過去問題に取り組んでほしい。4問しかない科目なので、基本的な問題しか出題されないの、WEB学習塾の過去問はこの科目をマスターするためにはとても有効である。そうすれば4点満点を取ることも可能である。</p>
			合格圏	52.4%	1.6%	52.4%	4.8%	4.0%	37.3%	
			未合格圏	31.8%	3.6%	31.8%	17.3%	5.7%	41.6%	
	問148	4	全体	50.7%	8.2%	8.4%	8.9%	50.7%	23.8%	<p>➡ 両群ともに選択肢4と5で悩んだ様子がうかがわれる。ここで着目したいのは、合格圏群は、選択肢1・2・3はほとんど消去できている点である。ここが未合格圏群との大きな違いである。選択肢5は間違い選択肢を作る時の常とう手段「すべての」というものがついている。「のみ」「一律に」なども同様である。これらに注意して問題を読むと読み間違いミスを減らすことができる。</p>
			合格圏	69.0%	2.4%	3.2%	4.0%	69.0%	21.4%	
			未合格圏	45.3%	9.9%	9.9%	10.4%	45.3%	24.5%	
	問149	1	全体	67.6%	67.6%	1.5%	21.7%	6.9%	2.4%	<p>➡ 両群ともに解答傾向は同じである。選択肢3には、間違い選択肢を作る時の仕掛けが施されていることにお気づきだろうか。期間が示されている時は、それを覚えることで間違い選択肢を作ることができる。「確実にそれが正解だと分かっている場合」、あるいは「消去法でこれしか絶対に残らない場合」など以外の時はなるべく選ばないのが賢明であろう。</p>
			合格圏	67.5%	67.5%	1.6%	25.4%	5.6%	0.0%	
			未合格圏	67.6%	67.6%	1.4%	20.6%	7.3%	3.1%	
	問150	5	全体	35.3%	45.0%	1.8%	2.7%	15.1%	35.3%	<p>➡ 両群ともに選択肢1と選択肢5で悩んだ様子がうかがわれる。しかし選んだ傾向が逆になっている。保護司と保護観察官の役割は何度も何度も繰り返し出題されている。この科目が苦手だと思う人は、WEB学習塾の過去問を使って勉強すると短期間で実力アップできるはずである。その理由は出題範囲が極めて狭いからである。</p>
			合格圏	56.3%	29.4%	0.0%	1.6%	12.7%	56.3%	
			未合格圏	29.1%	49.6%	2.4%	3.1%	15.8%	29.1%	